

科目名：コミュニケーション論〈含、演習〉		必修	2単位(90時間)	
(Communication Theory)				
履修年次/時期：1年次 後期		授業形態：講義,演習		
主担当教員：伊ヶ崎 理佳				
主担当教員詳細：				
担当教員名：片岡 あい子, 関端 麻美				
学修目的	医療に必要なチーム医療及び患者さんとのコミュニケーションを図ることを中心に講義やグループディスカッションを通して課題発見力、問題解決力を養う。			
	関連するCP：CP1,CP2,CP5	科目No. S1A03H09		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	-	
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	-	
	3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎	
		(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	①コミュニケーションについて定義、方法を学ぶ。 ②発達理論を学ぶ。 ③コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。 ④コミュニケーションの方法を身に付ける。 ⑤ヘルスコミュニケーションを理解する。 ⑥アサーションについて学ぶ。		
授業概要	良好な対人関係を構築するために、コミュニケーションに関する基本的な知識と考え方を学ぶ。医療に必要なチーム医療および患者さんとのコミュニケーションを図ることを中心に講義や演習を通して課題発見力、問題解決力を養うことを目的に授業を展開する。			
評価方法	本試験(60%) 課題提出、受講状況、実習への取り組み(40%) 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】2時間 【復習】2時間			
教科書	プリントを配布します。			
参考書	随時紹介します。			
オフィスアワー連絡先	伊ヶ崎 火～金(16:00～17:00) ikazaki@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。 片岡 月～金(16:00～17:00) kataoka@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。 関端 月～金(16:00～17:00) sekibata@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。			

実施回	第1回	実施日	2026/09/10	時限	1	班	A班
授業計画	オリエンテーション コミュニケーションとは(1) ・コミュニケーションについて考える。	予習	コミュニケーション論で学ばないことを考えてくる				
		復習	本時の内容を振り返る				
		キーワード	コミュニケーションの定義、コミュニケーションスキル、傾聴、共感				
授業形態	講義	担当	伊ヶ崎				

実施回	第2回	実施日	2026/09/17	時限	1	班	A班
授業計画	コミュニケーションとは(2) ・プロフェッショナルとしての歯科衛生士に欠かせないコミュニケーションについて考える。 ・医療面接について学ぶ。	予習	医療面接について調べる				
		復習	医療面接について理解する				
		キーワード	プロフェッショナリズム、医療面接、非言語的コミュニケーション、メタ・メッセージ				
授業形態	講義	担当	片岡				

実施回	第3回	実施日	2026/10/01	時限	1	班	A班
授業計画	発達論 自分を知る(1) ・発達の理論を学ぶ。	予習	なし				
		復習	発達の理論について整理する				
		キーワード	発達課題、発達の方向性、連続性、異速性、ジャンセン、ハヴィガースト、エリクソン、アイデンティティ				
授業形態	講義	担当	伊ヶ崎				

実施回	第4回	実施日	2026/10/08	時限	1	班	A班
授業計画	発達論 自分を知る(2) ・自分年表の意義を理解し、作成できる。	予習	自分の生い立ちを調べてくる				
		復習	自分のこれまでの生活を振り返る				
		キーワード	自分年表				
授業形態	講義, 演習	担当	○伊ヶ崎, 片岡, 関端				

実施回	第5回	実施日	2026/10/15	時限	1	班	A班
授業計画	心理学から見たコミュニケーション(1) ・コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。	予習	なし				
		復習	クライアント中心カウンセリングの基本を理解する				
		キーワード	自己理解、クライアント中心療法、ラポール				
授業形態	講義	担当	片岡				

実施回	第6回	実施日	2026/10/22	時限	1	班	A班
授業計画	心理学から見たコミュニケーション(2) ・コミュニケーションに関わる心理学的な理論を知る。	予習	なし				
		復習	カウンセリングの方法を理解する				
		キーワード	対人認知、ステレオタイプ観念、認知、私の木				
授業形態	講義, 演習	担当	○片岡, 伊ヶ崎, 関端				

実施回	第7回	実施日	2026/10/29	時限	1	班	A班
授業計画	コミュニケーションの方法(1) ・さまざまなコミュニケーションの形を理解する。 ・非言語コミュニケーションを体験し、適切なコミュニケーションの基本を理解する。	予習	言葉以外のコミュニケーションとは？				
		復習	話しやすい環境				

		キーワード	非言語的コミュニケーション、傾聴、心理的距離		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第8回	実施日	2026/11/05	時限	1
授業計画	コミュニケーションの方法(2) ・非言語的コミュニケーションを体験し、適切なコミュニケーションの基本を理解する。 ・傾聴について理解し、実践できる。 ・共感について理解する。	予習	傾聴の基本姿勢		
		復習	傾聴の基本姿勢		
		キーワード	視線、うなずき、あいづち、くりかえし、能動的傾聴、受動的傾聴		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第9回	実施日	2026/11/12	時限	1
授業計画	コミュニケーションの方法(3) ・効果的な質問の方法について理解する。	予習	質問の種類		
		復習	傾聴について		
		キーワード	オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第10回	実施日	2026/11/19	時限	1
授業計画	コミュニケーションの方法(4) ・効果的なコミュニケーションを実践する。 ・スムーズな情報共有について理解する。	予習	コミュニケーションの方法(1)～(4)の内容について		
		復習	質問の方法		
		キーワード	一方向コミュニケーション、双方向コミュニケーション、情報共有		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第11回	実施日	2026/11/26	時限	1
授業計画	コミュニケーションの方法(5) ・患者さんと良好なコミュニケーションの方法を理解する。 ・患者さんの本来の感情に気づくことができる。	予習	患者さんの心理について考える		
		復習	事例検討を振り返る		
		キーワード	ロジャーズのクライエント中心療法、感情の明確化		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第12回	実施日	2026/12/03	時限	1
授業計画	ヘルスコミュニケーション(1) ・患者さん主体のコミュニケーションを図ることが出来る。	予習	患者さん主体のコミュニケーションとは		
		復習	コミュニケーションスキルを振り返る		
		キーワード	患者さん主体、コーチング		
授業形態	講義,演習	担当	○関端,伊ヶ崎,片岡		
実施回	第13回	実施日	2026/12/10	時限	1
授業計画	ヘルスコミュニケーション(2) ・患者さん主体のコミュニケーションを図ることが出来る。	予習	患者さん主体のコミュニケーションとは		
		復習	コーチングを振り返る		
		キーワード	患者さん主体、コーチング、メッセージ		
授業形態	講義,演習	担当	○片岡,伊ヶ崎,関端		
実施回	第14回	実施日	2026/12/17	時限	1

授業計画	良いコミュニケーションとは(1) ・アサーションについて理解する。	予習	自己表現タイプを考える
		復習	アサーションについて理解する 自分の気持ちをきちんと伝える技術について振り返る
		キーワード	アサーション、自己表現タイプ
授業形態	講義	担当	伊ヶ崎

実施回	第15回	実施日	2027/01/14	時限	1	班	A班
授業計画	良いコミュニケーションとは(2) ・アサーションを用いたコミュニケーションを図ることができる。 ・医療安全に必要なコミュニケーションについて理解する まとめ	予習	コミュニケーション論での配布資料を整理する				
		復習	アサーショントレーニングを振り返る				
		キーワード	アサーショントレーニング、言葉以外の表現方法、チームワーク、コミュニケーション・センス				
授業形態	講義, 演習	担当	○伊ヶ崎, 片岡, 関端				